

1	研究名	医用画像における形態及び機能情報の統合による病変の良悪性鑑別支援システムの開発
2	目的	医用画像における肺良悪性鑑別支援システムを開発し診断精度の向上を目的とする。
3	対象	孤立性肺結節があり、肺腫瘍鑑別のためCTおよびPET検査の両方を施行された患者を研究対象とする。PETは中電病院の画像(広島大学病院からの撮像依頼症例)、CTは同時期に広島大学病院で撮影されたものを使用する。
4	期間	平成26年9月30日まで
5	担当	放射線診断科 古本 大典
6	研究者内容	1.機能画像(PET)・形態画像(CT)のそれぞれから抽出した画像特徴の性質を分析 2.病変の良悪を鑑別するソフトウェアの開発 3.医師によるオブザーバ実験により、開発されたソフトウェアの臨床的有用性を検証する。
7	個人情報に関する考え方	研究に用いる画像データの個人情報を削除し、個人情報とは無関係の番号を付け匿名化を行う。匿名化後のデータは、外部に接続していないコンピュータ上で解析を行う。
8	発表	学会、誌上で発表を予定していますが、個人の特定できる形での発表はありません。